

2018
May

5

ガバナー月信

VOL.11

Contents

ガバナーメッセージ	1
ローターアクト地区大会報告	2
インターアクト海外研修報告	3
米山カウンセラー研修会報告	5
新潟東RC	
創立 60 周年記念式典報告	6
直江津RC	
創立 60 周年記念式典報告	7
5月の地区の予定	8
新会員報告	9
会員数及び出席報告	10
コーディネーターニュース	11
ハイライトよねやま	12
文庫通信	14



国際ロータリー第 2560 地区 2017-2018 年度

新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-MAIL k.shinbo@rid2560niigata.jp





青少年奉仕月間にあたり

2017-2018年度 ガバナー
新保 清久 (新潟万代RC)

5月は青少年奉仕月間です。1905年にロータリーがアメリカのシカゴで創立された当初の目的は、クラブ内の信頼できる会員との経済的な取引でしたが、次第にアメリカ人に浸透していたピューリタニズムの博愛精神の理念が醸成されて、ロータリーは、四つのテストに凝縮される職業奉仕や地域社会に奉仕を行う社会奉仕、世界で一人でも困っている人がいたら助けようという国際奉仕にまで活動の輪が広がりました。

以後ロータリークラブが発展を続ける中で青少年にロータリーの博愛、奉仕の理念を植え付けようという目的で1962年に12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブ Interact Club(インターアクトクラブ)、インターアクトクラブの卒業生の受け皿として1968年に18歳から30歳までの青年男女のために Rotaract Club (ローターアクトクラブ) が提唱されました。

また1971年にRYLA(ライラ)1972年にRotary Youth Exchange(青少年交換プログラム)がRIの正式なプログラムになりました。

ところで日本独自の米山奨学事業も青少年奉仕にあたるのではないかと思います。1952年に始まった外国人留学生を支援する米山奨学事業は、1968年に公益財団法人米山記念奨学会となり、世界平和を目的に国際理解、国際親善の活動が始まりました。

ロータリーの友4月号でも記事が掲載されましたが、2018年2月4日に東京お台場で財団設立50周年記念式典に出席してきました。

出席者は、米山関係者(米山奨学生、学友、米山委員会関係者)RI理事、日本ロータリー関係者、ミャンマー連邦、台湾、モンゴル、マレーシア、ベトナム外交官等々総勢800名。

米山学友でロータリアンの台湾、韓国、モンゴル、中国人のパネリストの発表や講演、大口寄付者へ特別表彰がありました。学友は、奨学生に選ばれて、多額な奨学金だけでなく、世話クラブ、カウンセラーとの交流によって異国での心細い気持ちが勇気づけられ、存分に勉強や研究ができた。今があるのは、米山奨学生に選ばれたおかげでなので、恩返しをしたいと皆さん口々に述べられていました。カウンセラー、世話クラブという米山独自の制度により十分にロータリアンの善意と奉仕の心が伝わっていると感動しました。以上



第 2560 地区ローターアクト地区大会

青少年奉仕委員会
ローターアクト委員長
本間 長市（新潟南RC）

2018年3月3日（土）に国際ロータリー2560地区ローターアクト（以下RA）第48回地区大会が燕三条ワシントンホテルで盛大に開催されました。

新潟県内のアクター及びロータリアンはもとより県外からも多くのアクターに参加頂き、例年より多い総勢180名を超える参加人数となりました。

参加人数の多さは、小日向翼地区代表の人徳と歴代の地区役員の努力の成果だと感嘆しました。

式典では白根ロータリークラブの関根功雄会長、永井真伊地区大会実行委員長の歓迎の挨拶で始まり、鈴木力燕市長及び新保清久ガバナーの祝辞と続き、優秀アクター、優秀クラブの表彰が行われました。

その後、地区活動報告並びに各クラブの活発な活動報告の発表を行いました。

ローターアクトクラブは今年から、5年間休会していた直江津RACが加わり、9クラブ109名となり、クラブ数も会員も増やす事ができました。これもひとえにロータリアンのご尽力の賜物です。大変ありがとうございました。

記念講演では、講師に株式会社スノーピークの山井太代表取締役社長をお招きし、さまざまな角度からレジャーを見直し、視野を広く持ち地方公共団体ともタイアップしながら新しいビジネスを発掘していく手法などを講演して頂き素晴らしい内容でした。

祝賀会では、地区役員などによるフラッシュモブダンスで始まり、各クラブや他地区の出し物で大いに盛り上がりました。

大会テーマは「RIBBON」です。本大会に参加して頂いた方々をリボンで結ぶように、皆様が堅いきずなで結ばれ脳裏に刻まれたと思います。

最後に応援して頂いている各提唱クラブの皆様をはじめ、本大会に参加された全ての皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。





国際ロータリー第 2560 地区・第 2840 地区

インターアクト海外研修報告書

青少年奉仕委員会
インターアクト委員長
長谷川寿一（新発田城南 R C）

今年度も 2560 地区と 2840 地区合同でのインターアクト台湾研修が 3 月 29 日から 3 泊 4 日で実施しました。今回は 21 校 39 名のインターアクト、そして顧問教諭、ロータリアンの総勢 51 名で、短期間ではありますが実りある国際交流を図ってきました。

昨年も研修に参加しましたが、今年はインターアクト委員長としてインターアクトの活動方針である「国際理解と親善の推進」を一層深める研修となるよう準備してまいりました。

毎年のことですが、インターアクト達は、出発前はホームステイ先の心配も含め緊張の様子でしたが、先ずは空港で熱烈な歓迎を受け、逆に海外という異国の空気が次第に気持ちを和やかにしてくれたようです。

そして台湾最大の公共建築物である「中正記念堂」を訪れると、広大な庭園にそびえ建つメモリアルホールと、その本堂に鎮座する高さ 6.3m という蒋介石のブロンズ像に圧倒され、また衛兵の威厳ある姿勢に日本とは違う文化を感じ取っていたようです。

2 日目の歓迎会ではお互いに記念品を交換し合い、言葉がわからずとも、既に友好関係が築けていたような笑顔で会場が沸いていました。

このように海外の高校生たちとふれあい、活動をともしるということはインターアクトが提唱する「深めよう国際理解を。つなげよう国際コミュニティを。」の信念に基づくことであり短い期間でも十分に国際理解が深められるものだと実感いたしました。そして出発前とはまるで違って生き生きとした顔で交流活動ができていることがインターアクターの未来にも繋がっていくことと思っています。特にこの研修で一番の不安に感じていたホームステイでは、言葉の壁があっても温かいおもてなしを受け、ホストファミリーと一緒に経験したことがインターアクターを大きく成長させてくれたことと感謝しています。ホームステイや、さよならパーティーなど実際の交流が、海外の語学を勉強したいと思う気持ち、そして世界について知りたいと思う気持ちを沸き起こさせ、また何事にも積極的に参加する精神など、この研修が与えてくれた成果だと思っています。



いよいよ日本に帰国するという最終日には早朝にもかかわらずホストファミリーも空港までお見送りに来てくれました。名残惜しい気持ちを胸に台湾を後にしましたが、次は私達が日本で熱く皆さんをお待ちいたしております。

今年は、台湾でも大きな地震がありました。日本での災害時にはいつでも台湾の皆様が直ぐに支援の手を差し伸べていただき大変感謝しております。これからもこの交流活動が続けられ私達も台湾東部・花蓮県地震の一日も早い復興に今後も支援をさせていただきたいと思っています。

最後になりますが、この交流の開催にご尽力いただきました皆様のおかげで無事に研修を終えることができましたことを心より感謝申し上げます。





「米山カウンセラー研修会のご報告」

米山記念奨学委員会
奨学生選考委員長
若山 良夫（新潟南RC）

2017-18年度米山カウンセラー研修会が、平成30年3月31日（土）ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催されました。当日は新保ガバナー及び川瀬ガバナーエレクト、さらに公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員でもある石本PGにご列席頂き、カウンセラーとなられる18名の方々をお迎えして研修会を行いました。

研修会では、「カウンセラーのためのオリエンテーション」と題し、カウンセラーハンドブックを基に米山記念奨学事業の成り立ちと事業の使命、またその特徴を説明し、世話クラブとカウンセラーの役割について、大きく9個のテーマについて学びました。

その後は、現カウンセラーの大平 岳男さん（新潟北RC）と、本間 守男さん（燕RC）と、同じく現奨学生の李 程芳菲さん（世話クラブ燕RC・カウンセラー本間守男さん）から体験発表をして頂きました。カウンセラーの皆様は、カウンセラーを受けるまでと受けた後の心情やエピソードを交え、これからカウンセラーを担われる方々へのアドバイスとなるお話をして頂きました。



米山記念奨学事業は国際奉仕事業であり、且つ人材育成事業でもあります。奨学生にとっては一生の中でも他に代えがたい貴重な経験ができる期間であります。奨学生をお引き受け頂きました世話クラブ、カウンセラーの皆様にはご苦勞をされる点多々あるかもしれませんが、是非とも日本のお父さんお母さんとして、良きアドバイザーになってくださいます事を心よりお願いを申し上げて、研修会の報告と致します。





「新潟東RC創立60周年記念式典」の報告

～新しい時代を創る～

新潟東RC
会長
水本 孝夫

4月7日（土）ANAクラウンプラザホテル新潟にて60周年記念式典を、以下の記念式典・記念講演・祝賀会の3部構成で開催致しました。

1、記念式典

記念事業

- ① ロータリー財団への寄付
- ② ロータリー米山記念奨学会への寄付
- ③ のんびり青山の会への寄付
- ④ リトルリーグ信越連盟新潟ブロックへの寄付



2、記念講演

演題「AIロボットが同僚に！IoT時代の働き方はこう変わる」

講師 家入龍太 (株) イエイリ・ラボ 代表取締役

3、祝賀会

司会者 松尾伴内 中田エミリー

コンサート 「トリオ・ヴェスナー」

バイオリン 廣川抄子 / ピアノ 石井朋子 / ソプラノ 鈴木規子



特に祝賀会では開演前にウエルカムドリンクとトリオ・ヴェスナーの3名の美女によるミニコンサートで会場の皆様にリラックスして頂き、当クラブメンバー全員による生演奏での会歌の合唱を聞いて頂きました。

司会は松尾伴内さんと中田エミリーさんをお願いし、テーブルごとに記念撮影もしました。さらにANAクラウンプラザホテル新潟の佐藤宏幸総料理長の思いのこもった料理とおいしいワインを堪能頂き、最後は「手に手つないで」を会場内の全員（ホテルのスタッフも含め）で輪になって合唱しました。

当日は第2分区のRCの多くのメンバーの皆様よりご出席を賜りありがとうございました。又、友好クラブの高崎北RC、交流クラブの静岡東RCの皆様にもご出席頂きありがとうございました。



私どもクラブは「温故知新」の精神のもと「新しい時代を創る～progress to the future～」をテーマにこれからの5年、10年先を見据え、時代の変化に対応した活動を通じて、さらなる進化をしていく所存ですので、今後ともよろしくお願い致します。



直江津ロータリークラブ創立60周年記念式典報告

直江津 R C
会長
熊木 繁雄

私共直江津ロータリークラブは、高田ロータリークラブをスポンサークラブとして1958年3月3日に国際ロータリーより加盟承認され、新潟県内9番目のクラブとして誕生して以来、本年創立60周年という節目を迎える事が出来ました。

当初22名の会員でスタートいたしました当クラブも、去る4月14日に開催致しました創立60周年記念式典は63名の会員で迎える事が出来ました。

記念式典には新保清久ガバナー、村山秀幸上越市長、高橋信雄上越商工会議所会頭、各パストガバナーの皆様、地元ご来賓の皆様、また2560地区より多くのロータリアンの皆様にご出席をいただきました。心より感謝申し上げます。

遠方からは25年以上の交流を続けております姉妹クラブの北海道・岩内ロータリークラブの皆様や、韓国・西浦項ロータリークラブの皆様がお越し下さいました。韓国・西浦項ロータリークラブとは、5年ごとに行っている姉妹クラブ締結調印式を4月13日に行い、更なる交流の約束を致しました。

記念式典では60周年記念事業として直江津ローターアクトクラブの再設立、社会福祉法人上越市社会福祉協議会への寄付、そして今年6月に開館いたします新水族博物館「うみがたり」にマゼランペンギンのモニュメントの寄贈についてご報告いたしました。

そして、本年もう一つ最重点政策として行った会員増強について、15名の新会員を迎える事が出来、報告した際には、来場者から大きな歓声を受けました。

祝賀会では記念アトラクションとして小竹勇生山ファミリーによる三味線演奏から始まり、歓談の際には多くの方々よりお祝いの言葉を頂戴いたしました。大きな輪となって合唱



いたしました最後の「手に手つないで」まで、盛会のうちに終了することが出来ました。

お忙しい中、当日ご出席下さいました皆様とこれまで当クラブを支えて下さいました各クラブの皆様にご心より感謝申し上げます。



5月地区の予定 【青少年奉仕月間】 (RIレート：\$1=¥108)

2018年5月		地区主要行事	会場
12	(土)	2018 全国青少年交換研究会	千葉県
12	(土)	地球環境保全のための植樹事業 (下越地区①)	グリーンパークあらかわ総合運動公園
19	(土)	川瀬年度 地区研修・協議会	燕三条地場産業振興センター
20	(日)	新津中央 RC 創立 40 周年記念式典	新潟薬科大学 新津駅東キャンパス
26	(土)	地球環境保全のための植樹事業 (下越地区②)	新潟市西区青山海岸
27	(日)	青少年交換学生オリエンテーション	ANAクラウンプラザホテル新潟

My Rotary のアカウント登録が地区ホームページからジャンプ出来るようになりました

2018年4月1日現在、当地区の My Rotary アカウント登録率は 15.9% (2127 人中 339 人) となっておりますが、この度、地区ホームページからのアカウント登録ページにジャンプが可能になりました。

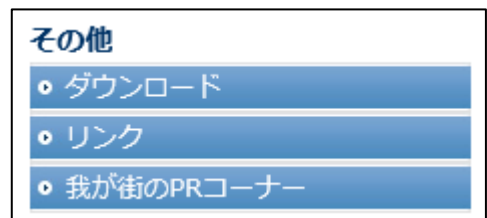
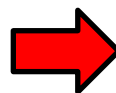
積極的なアカウント登録と、My Rotary 活用のほどお願い申し上げます。



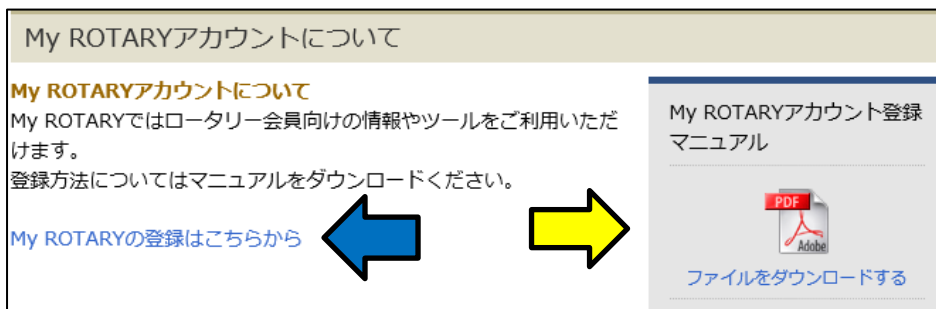
①第 2560 地区ホームページを開き

「ロータリアンの方へ」を下へ

②「その他」の「ダウンロード」をクリック



③My Rotary アカウント登録マニュアルのダウンロードは をクリック



④My Rotary の

アカウント登録は

 をクリック

※My Rotary アカウント登録の前に、ご自分のメールアドレスが国際ロータリーに事前登録されているか、所属しているロータリークラブ事務局さんにお確かめください。

新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
水原	齋藤 重樹	2018.4.1	(株)安田車両サービス	自動車整備・販売
新発田城南	畑 眞	2018.4.5	(株)真恵商事	リサイクル業
中条胎内	飯田 稔	2018.4.6		コンサルタント
新潟東	大宮 一真	2018.3.16	(一社)環境未来都市推進機構新潟	電気工事
新潟東	小林 文浩	2018.3.23	(株)田中組	建設業
新潟南	村上 昭二	2018.4.11	(株)新潟第一興商	カラオケ機器の販売及び賃貸
白根	大矢 昭弘	2018.1.18	(有)大矢組	鉄道建設
燕	斎藤 雅弘	2018.4.19	(株)サイトウ電設	電気工事業
見附	佐田 太一	2018.4.1	(株)丸昌リサイクル	サービス業
巻	宇野 政幸	2018.4.1	(株)赤塚ボーリング	サービス(2)観光ホテル
長岡	渡邊 淳也	2018.2.27	渡邊大工	建築業
長岡	砂山 雅人	2018.3.27	砂山法律事務所	弁護士
長岡	八木 浩幸	2018.4.10	(株)新潟日報社 長岡支社	新聞発行
長岡	渡邊 幸雄	2018.4.10	(株)新潟味のれん本舗	米菓販売
長岡東	上野 徹	2018.4.4	住友生命(相) 長岡支社	生命保険
長岡東	池上 健一	2018.4.25	東京海上日動火災保険(株)	損害保険業
長岡東	片倉 彰浩	2018.4.25	明治安田生命保険(相)	生命保険業
長岡東	小熊 俊	2018.4.25	日本電気(株) 長岡支店	コンピューター製造販売
直江津	新保 一浩	2018.3.1	上越信用金庫	金融業
直江津	熊木 浩行	2018.3.13	(有)熊木組	土木工事業
直江津	隈部 博文	2018.3.13	(株)ミツミ	土木工事業
直江津	吉田 了	2018.3.13	(株)上越エアクルー	熱絶縁工事業
直江津	内山 淳一	2018.3.13	(有)中澤電工	電気工事業
直江津	杉本 正史	2018.3.13	M a s a h o m e (株)	土木建築サービス業
直江津	井澤 茂	2018.3.20	(有)井澤商事	非鉄金属製造業
直江津	中川 洋子	2018.3.20	上越郵便輸送(株)	道路貨物運送業
直江津	佐伯 慎吾	2018.3.20	(株)トラスト	保険業
直江津	布施 和義	2018.4.3	(株)布施鉄工所	金属製品製造業
高田東	三島 靖之	2018.4.1	住友生命保険(相) 長岡支社	生命保険業
糸魚川中央	片山 良博	2018.4.1	(株)三愛旅行社	旅行斡旋
越後春日山	藤田 明仁	2018.3.8	(有)藤田畳商店	畳製造販売

第2560地区 2017-18年度 3月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	3月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		84.17	364	378	36	14
新発田	4	93.40	93	96	0	3
村上	4	84.87	37	37	9	0
水原	4	77.89	27	27	0	0
中条	3	87.24	34	36	3	2
新発田城南	4	79.35	41	41	3	0
豊栄	4	79.60	26	27	3	1
新発田中央	3	89.65	45	50	5	5
中条胎内	4	86.11	33	36	7	3
村上岩船	4	79.46	28	28	6	0
第2分区(9クラブ)		77.79	441	441	20	0
新潟	4	87.21	86	84	0	-2
新潟東	5	84.39	62	61	8	-1
新潟南	3	83.77	99	105	2	6
佐渡	5	85.70	7	7	0	0
新潟西	4	73.95	41	39	1	-2
佐渡南	4	79.87	41	41	4	0
新潟北	4	50.32	43	41	0	-2
新潟中央	4	84.88	24	25	0	1
新潟万代	4	70.00	38	38	5	0
第3分区(6クラブ)		74.63	122	119	6	-3
新津	3	72.56	18	17	0	-1
村松	4	86.36	11	11	0	0
五泉	4	75.00	17	14	1	-3
白根	5	83.88	37	37	2	0
新津中央	4	73.39	29	30	2	1
阿賀野川ライン	4	56.60	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)		75.60	368	372	23	4
三条	3	91.64	57	60	0	3
燕	5	67.99	33	33	1	0
加茂	5	70.71	29	27	4	-2
三条南	3	86.80	48	49	3	1
分水	4	61.21	31	30	3	-1
見附	4	70.00	20	20	1	0
吉田	4	80.83	33	30	2	-3
三条北	3	76.54	64	65	2	1
巻	4	83.80	14	18	1	4
田上あじさい	4	71.40	7	7	1	0
三条東	4	70.69	32	33	5	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	3月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		86.20	314	314	23	0
長岡	4	86.97	39	46	1	7
柏崎	3	82.78	45	43	0	-2
長岡東	3	85.80	66	66	5	0
柏崎東	4	90.11	50	45	4	-5
栃尾	4	86.67	21	22	0	1
長岡西	4	82.21	57	57	5	0
柏崎中央	3	88.89	36	35	8	-1
第6分区(6クラブ)		79.82	154	157	11	3
十日町	4	94.84	34	34	3	0
小千谷	5	58.75	38	39	5	1
雪国魚沼	3	70.20	25	27	2	2
十日町北	3	88.89	23	24	0	1
津南	4	84.26	27	26	1	-1
越後魚沼	4	82.00	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)		78.56	320	337	26	17
高田	5	98.16	66	66	0	0
直江津	4	80.54	48	62	5	14
新井	3	82.22	29	31	3	2
糸魚川	5	54.88	42	43	3	1
高田東	4	75.56	38	38	3	0
糸魚川中央	5	82.94	34	34	0	0
頸北	3	85.70	14	15	1	1
越後春日山	5	68.50	49	48	11	-1

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,083	人
3月末 会員数	2,118	人
女性会員数	145	人
純増減会員数	35	人
当月平均出席率	79.43	%





■「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」

今年の国際協議会に出席されたガバナーエレクトの皆様には研修を終えられて新たな気持ちでガバナー一年度に備えておられるものと思います。

来年度のラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」であります。今年度のライズリー会長の「ロータリー:変化をもたらす」のテーマの延長線上のテーマではないでしょうか。しかし、インスピレーションをどのようにロータリアンに理解してもらうことができるかが難題であろうかと考えます。

私は「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」という言葉が、ラシン会長の意図するところではないかと考えます。ロータリアンがロータリーの意義を社会に理解してもらうために、若者を巻き込んで共に行動を起こすことが求められています。時勢を見失ってはなりません。

先日の日台親善会議に出席された方も多いと思いますが、台湾、韓国そして日本に見られる東洋的な考え方と欧米諸国の考え方に違いがあるように思われますが、目指す理念は同じであると思います。

国際ロータリー 理事 石黒慶一

■「地域社会を変える行動人」

「世界を変える行動人」について、皆様は昨年来RIから発信されてくる数多くのパンフや写真をご覧になっていらっしゃるかと思います。「世界を変える行動人ロータリアン」の様子を一般社会へ伝えることは、ロータリーの公共イメージ向上という観点から大切なことであります。

一方、各クラブと地区にとって重要なことは、ロータリアンがそれぞれの「地域社会」で世の為、人の為に日々活動していることを地元の人々に先ずよくご理解頂くことです。「世界を変える行動人」はその延長線上にあります。原点となる「地域社会を変える行動人」は皆様方のそれぞれのクラブや地区にいらっしゃいます。



来たれ学友中心の若者の集い
坂出東四国ロータリー衛星クラブ
入会金1万円・年会費7万円
衛星クラブ議長

3月末東京で開かれました「会員基盤向上セミナー」で「地域社会を変える行動人」の一人として、四国地域を中心にカバーする「坂出東四国ロータリー衛星クラブ」をこの度立ち上げられました2670地区直前ガバナーのARPIC前田直俊さんを紹介致しました。この新クラブは学友を中心に、現代社会の多様な入会候補者のニーズを汲み取ることが出来る会員構成で設立準備を進められました。

日本全体の会員純増率は、過去5年間のDataでは、ほぼ+/-ゼロに近い数字であり、40歳以下の会員数は僅か1%ほどです。今後の5年間は、会員の高齢化が更に進み、既存クラブでの純増は極めて難しい状況が続くと思われまます。従いまして会員数の伸び余地が残されているのは、クラブ運営を多様化した「衛星クラブ」や「新型クラブ」ということになりそうです。その様なクラブが増えて行きますと、既存クラブの運営も次第に変化して行くのではないのでしょうか。日本では女性会員の入会が1989年に可能になってから30年近くが経過しやっとなら6%を占めるようになりました。

日本は変革に時間が掛かる国ですが、私達の工夫と努力次第で国際水準への到達は可能と前向きに捉えて行きましょう。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■「ロータリー活動の実働部隊はクラブ会員である」

言うまでもないことですが、ロータリー活動の具体的実働部隊はクラブの会員であり、その直接のリーダーがクラブ会長です。クラブの会長がやる気を起こさなければ、如何にRI会長やガバナーが旗を振ってもどうにもならないし、逆にクラブ会長がやる気になればかなりの計画が実現します。そして、クラブ会長は地区ガバナーのやる気の強弱を感じて行動してくれる可能性があります。従って、ロータリー活動を活発化するためには、ガバナーが如何にしてクラブ会長にやる気を起こさせるかだと思います。

そのガバナーを支援するのがRI会長であり、私たちRI国内委員団だろろうと思っています。ところが、例えば私は九州4地区担当のARCですが、私の所属する第2700地区の事情はある程度把握できているし、ガバナーに対しても具体的な支援が可能ですが、他の3地区については支援が限られます。そこで、今年度は主として自分の地区で会員増強に効果があるだろうと思われる方法について試行錯誤して、その効果のみを来年度からは他の3地区のガバナーにも具体的な方法で本格的に働きかけようと思っています。幸い今年度、第2700地区の安増ガバナーは5年間で会員を6%、つまり1年で1.2%の増強を目標にするという第一次5カ年計画を立てています。現在の会員増の勢いから見ると目標達成は簡単ではないと思われまます。例年よりは多い会員増が期待され、6月末が待たれます。

話の次元は変わりますが、既存のクラブの会員増強も必要ですが、ロータリー活動の真の活性化には、従来型のクラブとは異なるクラブ運営に柔軟性を持った新しいタイプのクラブを新設して、奉仕の心と活発で実際的な社会奉仕活動を好む若い世代の会員を増やすことが必要であり、このプロジェクトに取り組むリーダーを養成することが困難であるけれど極めて重要だと思います。女性に期待したいですね。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭



第3代よねやま親善大使が決定！

「第3代よねやま親善大使」には36人の学友・奨学生から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2018年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。

		
エンフォルド, ボロルトヤ (モンゴル/2010-12/米沢RC) モンゴル米山学友会創立理事。 2016-17年度第3450地区ツェツェーグンRAC会長をつとめ、会長賞を受賞。在モンゴル日本国大使館勤務を経て再び来日し、現在はAI関連企業に勤務している。	アブデルアール, アハメド (エジプト/2013-15/大東中央RC) 早稲田大学大学院博士課程在籍中。また、国際理解支援協会講師として、日本の子供たちへの異文化教育にも尽力。エジプト・アラブ文化を広めるイベントを企画するなど人集めに長けたアイデアマン。	李英愛 (イヨンエ) (韓国/2002-05/札幌幌南RC) 北海学園大学非常勤講師。第2510地区と韓国第3700地区との通訳を10年間務め、日韓クラブの橋渡し役も多い。札幌ライラックロータリー衛星クラブ創立会員で、今年度幹事。第2510地区米山委員。

2018学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2018学年度の奨学生は854人となりました。新規採用者602人、継続者252人(4月10日現在)、800人を超えるのは2012年以来のことです。国・地域別にみると、中国39.2%、ベトナム14.8%、韓国9.8%、マレーシア4.4%、台湾4.1%の順、また、プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が788人(学部:299人、修士:280人、博士:209人)、地区奨励奨学金16人、クラブ支援奨学金12人、海外学友会推

薦奨学金5人、海外応募者対象奨学金33人となっています。今月は各地区でオリエンテーションが開催されています(第2600地区のみ5月実施)。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。研修を含めて1泊で行われる地区もあります。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。

寄付金速報 — 2017-18年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.7%増(普通寄付金:0.6%増、特別寄付金:8.5%増)約6,500万円の増加となりました。3月も好調に推移しており、皆様からの貴重なご寄付

に深く感謝いたします。今年度も残すところ3カ月弱となりました。これからは特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

“よねやま”がテーマのIM — 第2750地区 —

第2750地区多摩東グループのIM（ガバナー補佐：粕谷啓之氏、ホスト：東京調布むらさきRC）が4月5日、都内ホテルで開催されました。

テーマは「ロータリー米山記念奨学事業は、人材育成」。米山記念奨学会の財団設立50周年記念DVDが上映されたほか、基調講演を学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん（モンゴル／1998-99／山形北RC）と、ジギャン・クマル・タパさん（ネパール／2008-09／横浜たまRC）が務め、二人の話に感銘を受けたロータリアンが即日多額のご寄付をくださったほど、米山学友の活躍が伝わるすばらしいスピーチでした。懇親会ではアトラクションと



して、コリーン・クリスティナ・シュムコーさん（アメリカ／2014-16／東京葛飾RC）が、会場を巻き込みながら三味線や篠笛の演奏を披露し、文字通り“よねやま”に特化した、全国でも珍しいIMとなりました。

ミャンマー米山学友会が初の年次総会を開催

2017年2月に設立された最も新しい学友会、ミャンマー米山学友会の総会が3月11日にヤンゴン市内で開催され、学友9人が参加しました。発足からの1年余、日本のロータリークラブの奉仕活動に協力するほか、田中作次元RI会長からの支援金を基金とした“田中作次奨学金”の創立運営な



ど、活発に活動しています。総会では役員改選が行われ、会長・副会長の続投と新任の役員が決定しました。創立時から会長を務めるタンシンサインさんは、「今年度も昨年からの奉仕活動を継続し、多くの学友が参加するよう力を入れていきたい」と、メッセージを寄せてくれました。

タイ米山学友会総会報告 — 新役員を選任 —

3月17日、タイ米山学友会の年次総会がバンコク市内で開催され、タイ学友17人と家族、タイ・日本のロータリアン、韓国学友会・関西学友会の有志など、計35人が参加しました。今回の総会では、4月からの役員改選が行われ、会長にペッチ・ポンポーさん（1992-94／豊橋南RC）ら、新役員が選任されました。第4代会長に就任するペッチさんは、「当学友会設立当時の趣旨である、奉仕活動と“日本との懸け橋”



を行動方針として努めてまいります」と、抱負を語りました。

平成30年4月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 大塚信郎

拝啓

晩春の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。

このたびは、下記10点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致します。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信(367号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎ 「私がロータリアンになって学んだこと」 田中作次 2017 1p
(D.2660地区大会参考資料)
- ◎ 「素晴らしいロータリアンであり続けるために」 渡辺好政 [2018]
3p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎ 「奉仕の理想(理念)と職業奉仕論について」 渡邊宏二 2018 2p
(D.2530月信)
- ◎ 「これからのロータリーを考えるー規定審議会より見えるものー」
三木明 2018 7p (D.2780地区大会報告書)
- ◎ 「『四つのテスト』に対する愚見」 岡田幹矢 2018 1p
(D.2710月信)
- ◎ 「ロータリーの今日的課題」 鈴木秀憲 [2018] 17p
(D.2530地区大会記念誌)
- ◎ 「会員増強の新しい考え方」 2018 2p (D.2650月信)
- ◎ 「会員増強の発展(3つの方法があります)」 加藤玄静 2017 1p
(D.2660地区大会参考資料)
- ◎ 「会員維持のための12のポイント」 加藤玄静 2017 1p
(D.2660地区大会参考資料)
- ◎ 「夢を語り、現在(いま)を刷新(ガバナー月信ロータリーコラム総集編)」
刀根荘兵衛 2017 67p

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2017-18 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565 E-mail: k.shinbo@rid2560niigata.jp
ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>